KYOTIAN DICTIONARY

京都に生息するアボリジニー達の為の、ちょっぴりシニカルでコミカルな豆知識。

[N]

んなろぉ

「この野郎」の変形。「この野郎」から「こんにゃろぉ」「こんなろぉ」に変わり、「こんにゃろぉ」は「にゃろぉ」「ニャロメ」へ、「こんなろぉ」は「んなろぉ」へ変形した。嵐山光三郎の「江戸っ子弁、頭一文字省略の法則」の確立により、「バカヤロー」は「カヤロー」に「ふざけんな」は「ざけんな」に変形し、普及したが、「なによ」が「あによう」に「だからなによ」が「だーらあによ」に変形する高千穂遥の「ユリとケイの法則」は「ダーティペアシリーズ」と「クラッシャージョウシリーズ」で頻繁に使用されたが、いかんせん読者層が著しく偏っていたためついぞ定着しなかった。

んが

山上たつひこのまんが「がきデカ」の主人公、こまわりくんが困ったときにその場をごまかそうと発するギャグ。山上たつひこは「がきデカ」や「金瓶梅」のギャグマンガのほかに、「光る風」のようなハードな作品にも定評があったが、まさかなあ、作家になるとはなぁ。

んぺと

同じくこまわりくんのギャグ。足のももの裏側にちからこぶをつくる技。つげ義春「必殺するめがため」にその原型を、ゆうきまさみの「究極超人あ～る」における、R田中一郎の「ひとりするめがため」にその発展形をみることができる、ような気がしないでもない。

ん

京都市内に8店舗ある居酒屋チェーン。店名を「ん」にしたのは、「50音の一番最後、これより下はない。上がる一方である」という、先頃亡くなった前社長の考えによるが、おそらく「電話帳の最後をこらんください」という広告がうてる、とふんでのことでもあると睨んでいる。もしそれが当たっているのなら、電々公社がNTTになって、さぞかし困ったことであろう。タウンページは単純な50音別にできてはいないからである。

んだ

ドラマ、アニメなどの、特にコメディータッチの作品の登場人物が、東北地方出身という設定の場合に使われるセリフのステレオ・タイプではあるが、相当ナマリの強い東北出身者でも「んだ」と返事をする人にはまだ会ったことがない。

ンジャメナ

ヌジャメナともいうが、スペル上、ンジャメナと読む媒体もある都市。アフリカはチャドの首都。こういう地名がちゃんとあったりするから世界地図を読みこむように見ることは面白いのだ。このテの地名はテニスのダブルスのフォーメーションやアメリカンフットボールのフォーメーションにけおどしで使うと面白い。試合途中でだしぬけに、「よし、ンジャメナフォーメーションだっ！」と叫べば、相手が唖然として、きっとプレーにならないであろうと思われる。

んにゃ

10年ぐらい前までのドラマに登場する快活な九州人は、「いやだ」というとき、こう言っていたものだった。もちろん、「んだ」と返事をする東北人に会ったことがないのと同様、「んにゃ」と拒絶する九州人にも会ったことはない。

んなあほな

「キミとはやっとれんわ」にならぶ、上方漫才のシメの言葉。元来は「そんなあほな」だったのだが、「そんな」が、より楽に発音できる「ほんな」に変わり、さらに楽に発音できる「おんな」に、そしてもっと楽に発音できる「んな」に変わっていったと思われる。関西方言の発音は、鼻から抜けるような、もちゃあっとした言葉が比較的多い。いずれ母音だけで会話が成り立つようになるに違いない。

んちゃ

鳥山明のまんが「Dr・スランプ」の主人公、則巻アラレのあいさつ。鳥山明のまんが史における最大の功績は、開いた口に奥歯の上面を描き込んだことである。「Dr・スランプ」の原稿料と印税、アニメ「Dr・スランプ アラレちゃん」の原作料。「ドラゴンボール」の原稿料と、その大ヒットに伴う印税に、アニメ「ドラゴンボールZ」の原作料、ゲームソフト「ドラゴンクエスト」のキャラクターデザイン料、などと、彼の年収を想像したら、国家予算を優に越えてしまった。少し空しくなった。

んで

「ツキが回ってきたので金よこせ」の、「ので」の撥音便。関西の人が共通語を使う場合、これが使えなくてムリがあるように聞こえる。この撥音便とサ行とカ行の無声音をマスターすれば、少しぐらいナマリがあっても共通語っぽく聞こえるから、試しにやってみなさい。

ん

しりとりにおける禁句。京都市の北部にある、その昔芸人を多く輩出し、現在では関西学生ラグビーの雄といわれる某大学は、17～18年ほど前まで入学試験問題が、校門前に立っている試験官とのしりとりだったが、「それでもゴリラ、ラ、ライオン」言うて落ちるヤツがおりましてん」とOBである笑福亭鶴瓶師匠が言っていた。

「ん」の戯曲

A　ん（呼びかけるように）
B　ん？（Aを振り返る）
A　ん
　内ポケットから紙を取り出して、Bに見せる。
B　んっ！（激怒）
A　んんー
　A、嘲笑。自分の尻を叩く。
B　んんんんんんんっ
　怒りに体が震えるB。
A　んⁱ？（当惑したように）
B　んんっっー（殴る）
A　んー……（うめいてうずくまる）
　んっ（跳ね起きて）んっっ！（殴り返す）
B　んんっんんんんっ（Aにのしかかって首を絞める）
A　んっ……んん……（苦しそうに）
B　んんんんんっ（なおも絞める）
A　んっ……んっ！！
　Bの腹を蹴りあげるA。Bは思わず手を離す。
A　んんっ……（まだ苦しそうに首の回りをさする）
B　んんんんん（うめいている）
A　ん（促すように肩をたたく）
B　んⁱ？
　申し訳ないといった風情で手を合わせるA
B　んー（考えている様子）
　さらに申し訳ないといった風情で手を合わせるA
B　ん（つい笑ってしまう）
A　ん（笑）

ん、終わりである

「平成元年、栄光のクラブフェイムに登場以来、今日までの4年間、クラブフェイムならびに京辞林のために、絶大なるご支援をいただきまして、まことにありがとうございました。みなさまからの暖かいご支援、熱烈なる応援をいただきまして、今日までそれなりに一生懸命編纂生活を続けて参りましたが、今ここに五十音の限界を知るにいたり、引退を決意いたしました。振り返りますれば、4年間にわたる編纂生活には、いろいろなことがございました。その頁を一つ一つ思い起こしますと、好調時にはみなさまの激しい、大きな拍手が、この各編纂者の闘志をさらにかきたててくれ、また不調のときは、みなさまの「ふざけるな」「やめてしまえ」「金かえせ」などの暖かいご支援の数々が京辞林を支えてくれました。我がクラブフェイムは「打倒・少年ジャンプ　目標発行部数六八一万部」を目指し、編集長以下スタッフ一丸となり死力をつくし、最後の最後までベストをつくして戦いましたが、不運にも力ここに及ばず、「打倒・少年ジャンプ」の夢は破れ去りました。京辞林は今日ここに引退いたしますが、我がクラブフェイムは永久に不滅です。今後、微力ではありますが、クラブフェイムの新しい歴史の発展のために、栄光あるクラブフェイムの明日の勝利のため、今日までみなさまからいただいたご支援、ご声援を糧としまして、さらに前進していく覚悟でございます。長い間、みなさま、本当にありがとうございました」

ん、終わりである。